

はまかぜ

(市立御前崎総合病院)

No. 52

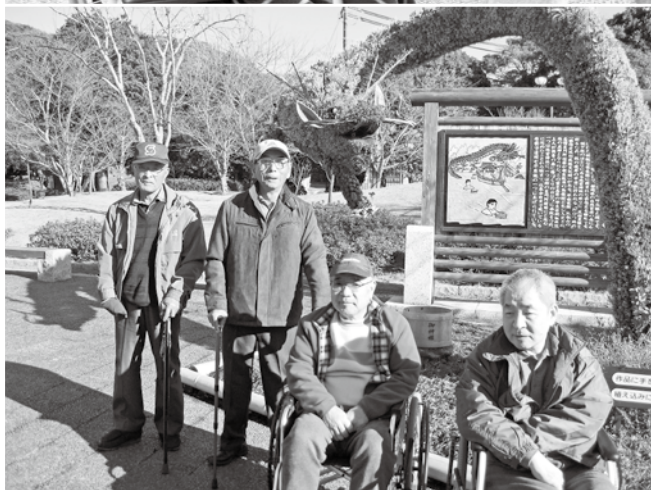
平成23年1月28日

発行：市立御前崎総合病院
広報委員会

ホームページ：<http://omaezaki-hospital.jp/> TEL<0537>86-8511(代)

(題字 小野 錦泉)

初詣に行ってきました。



今年も健康で過ごせますように!!

「はまかぜ」の点訳がご入用の方は総合受付までお申し出下さい。

新年のご挨拶

市立御前崎総合病院 院長 大橋 弘幸



皆さん、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。昨年度は、市立御前崎総合病院は波乱が少なく、比較的落ち着いた一年でした。これは、病院で働く職員も受診される患者さんも、本院の状況（多くの診療科で常勤医が不在）に慣れてきたためと考えています。また、本院は、高齢者医療やリハビリテーションを中心とした医療に力を注いでいますが、救急医療もがんばって行いたいと考えています。本院が生まれ変わるのには、多くの困難がありますが、毎年目標を掲げてそれに向かって着実に進んで行こうと思います。市民の皆さんに頼られ、私は市立御前崎総合病院の職員ですと胸を張って言える日のくる事を祈念しながら、新年の詞とします。

新年あいさつ

御前崎市総合保健福祉センター長 横山 徹夫



新年明けましておめでとうございます。今年はいさぎ年です。干支にちなんで、新年は、誰もが「ウサギのようにジャンプして飛躍の年に…」と思いを抱かれることかと思います。右肩上がりの時代は終わったようですので、ジャンプとはいかなくても、一足前に進むことができればと願っています。

センターは、今年はいくつかの節目を迎えた年になります。まず、第一にセンター開設10年目に今年にあたります。10年一昔と言いますが、10年も経ちますと当時とはだいぶ違った方向に物事が進んでいます。その象徴的な例が、昨年末より始まった療養病棟の床の張替えです。当時は自力歩行あるいは車イス移動ができる入所者が多く、安全と快適のためクッションのある床材が使用されていました。入所者の介護度と医療処置必要度が年毎に高くなり、このような利用者が減っていったベッドごとの移動を必要とする重症の利用者が多くなるとは、当時は誰も想像もできなかったことと思います。センターは、この10年の間に、より介護度と医療処置必要度が高い利用者を扱うようになっていきます。この10年の歩みを振り返ると、センター各部門はそれなりに充実と発展を遂げてきたと思います。しかし、センター、病院の両施設からの退所、退院後の在宅支援が課題として残っており、このあたりに手をつけることが、次の10年に歩みだす小さな一歩になるかと考えています。第二としては、「介護療養ベッド変換」の準備最終段階に入ります。当初の計画どおり「介護型」から「医療型」への変換を予定しています。タイミング的には電子カルテの導入に平行して行われます。第三は、この10年の歩みを振り返る形で文字どおり「センター10年の歩み」をテーマに公開講座を開き、市民を始め皆様と共に10年を振り返り次のステップを模索したいと考えています。

今年は、このように、新たな試みと行事を控えて忙しくなるかとは思いますが、皆様のご協力とご鞭撻を御願ひして新年の挨拶とさせていただきます。

新しい年を迎えて

看護部長 増田とみゑ



新年明けましておめでとうございます。新年を迎えるにあたりまして、皆様にとって新しい年2011年が明るく幸多き一年となりますよう祈念申し上げます。

さて、今年は卯年です。ウサギのようにとび跳ねながら大きな耳で、世の移り変わりのめまぐるしさとスピードに乗り遅れないようにそして降ろされないようにしていきたいと思っています。立ち止まることなく歩きつづけ常に前をそして上を目指して行くようにしたいと思っています。

昨年、2010年を振り返ってみますと、自治体病院改革プランの下、経営改善と看護、介護の質の向上に向けて努力した一年でした。経営改善に向けては遅まきながら7対1看護師配置基準の算定ができたことは大きなことでした。この取得に関しては看護師の数が充足されていない中、無理を承知で何とか算定にこぎつけています。常に他からの助勤を当てにしてカウントしましたので、該当の病棟の努力だけでなく看護部全体が協力して得られた結果だと感謝しています。人を有効に活用していこうということが定着し「困った時は助け合う」という意識が良い結果をもたらしています。外来患者数、ベッド稼働率も上がり診療報酬算定に関する努力はすべてではありませんがかなりの部分で実りました。

次に看護、介護の質の向上を目指しては認定看護師の誕生と介護福祉士資格取得率の向上が挙げられます。他には、師長、主任の中間管理者を対象にした研修を行い中間管理者のマネジメント能力向上を目指しました。中間管理者の管理能力を上げることは今後の当組織（病院、センター）の命運がかかっているといっても過言ではありません。マネジメント能力に優れた人材を今後も継続して養成していかななくてはならないと考えています。看護、介護に対する期待にはゴールはありませんので人々の期待に応えられる人材の養成は今後も必須です。職場が学びの場であるよう環境を整えていきたいと思っています。

さて、次に2011年は看護部にはどんなことを期待されているのかということですが、その前に当組織(病院、センター)の計画は2012年までに行うべき事業計画として、電子カルテ導入、病院機能評価受審、療養型の医療型への転換などが計画されています。必然的に看護部として取り組むべき事業は、電子カルテ導入に向けての現場での訓練、病院機能評価受審に向けての準備、療養型の転換準備です。引き続き人材確保と人材養成に力を注いで行きます。皆さんの協力もいただきながら今年もがんばって職場を盛り上げていけたら素晴らしいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

市立御前崎
総合病院

基本理念
基本方針

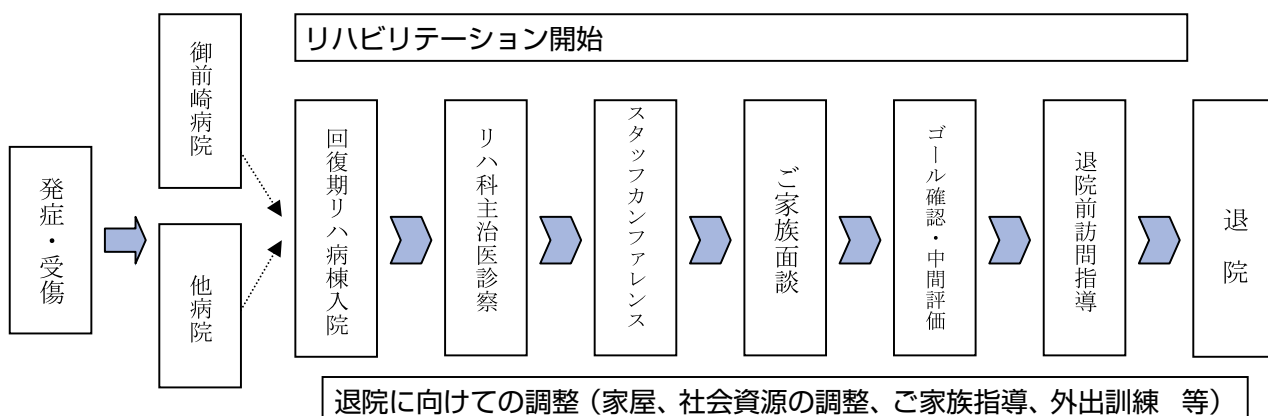
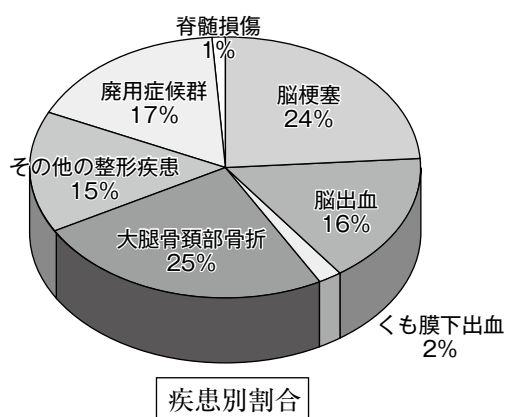
私たちは、地域住民に対し思いやりのある暖かな医療と、信頼される質の高い医療を提供し、保健と福祉の増進に尽くします。

1. 患者の権利を尊重し、インフォームドコンセント（説明と同意）に基づいた、安心と満足される医療を提供します。
2. 高度で良質な医療を提供するため、自己研鑽に努めます。
3. 病院内の各部門が相互に協力し、安全な医療を提供します。
4. 老人医療、救急医療の充実に努めます。
5. 地域の中核病院として医療・保健機関との連携を図り、住民の健康増進に努めます。

回復期リハビリテーション病棟をご存知ですか

家庭復帰を目指すための病棟

当院では、平成21年6月より回復期リハビリテーション病棟を開設し、多様な機能障害の患者様を対象に、1病棟38のベッドに12名のリハビリスタッフ（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）を配置し最善リハビリテーションを提供しております。回復期リハビリ病棟は、脳血管疾患や重症骨折、その他に機能障害を持つ患者様が、日常生活動作の向上を通して家庭復帰を目指すために設けられた病棟です。先に入院されていた急性期病院と連携を保つことで継続的で適切な治療を行うとともに、リハビリスタッフはチーム医療の中で、患者様が生活の場で必要となる能力評価と開発を含めた訓練を行います。



個人単位で適切なプログラムを作成

個人単位で作成するプログラムに基づき、専門職がチームを組んで、患者様の回復促進に努めます。

治療に際しては患者様の個別性を最重視しています。入院初日から医師、看護師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカーなど多様な専門職が患者様・ご家族と関わり、最適なプランを作成し、早期回復を目指した治療を始めます。

患者様の早期回復をお手伝い

家庭復帰・社会復帰がスムーズに行える訓練を実施。

常に患者様にとっての「最善」を考え、早期回復を実現することが私たちの使命です。そのために、例えばベッドサイドや病室周辺などにおいても生活動作の機能訓練を実施し、在宅生活に向けた積極的なアプローチを行っています。また、退院後の生活にも考慮し、主治医や介護サービス事業所との連携など、あらゆる不安を払拭できるよう患者様の安心と幸せを最重視した対応を実践しております。



回復期病棟退院患者実績



①日常生活動作機能的自立度（FIM）指標の変化

FIMとは機能的自立度評価表（Functional Independence Measure）

の略であり、日常生活で行っている活動を7点満点の18項目（食事、更衣、移動、排泄、理解、記憶等）で評価しており、全項目自立されていると126点となります。また、一般的に器具等を使用しての修正自立が6点とされており、合計108点付近が在宅復帰の目安となっています。在宅復帰群において入棟時のFIM平均は、平均86点、合計106点以上が約25%であったのに対し、退院時FIMが平均96.3点、106点以上は約43%に改善しています。

	在宅復帰群		その他退院群	
	入棟時	退院時	入棟時	退院時
30点以下	3	2	0	1
31～45点	5	3	7	5
46～60点	15	12	9	5
61～75点	28	11	10	11
76～90点	38	30	8	8
91～105点	36	39	9	11
106～126点	41	70	4	6
平均	86.0点	96.3点	72.6点	78.3点

②FIM効果およびFIM効率における施設間比較

FIM効果とは、回復期リハビリテーション病棟に入院してどの程度日常生活が改善したかの指標で、点数が大きいほど治療効果が高いことを示しています。また、FIM効率とは、入院1日でどの程度改善したかの指標で、点数が大きいほど効率性のある治療を提供したことになります。

比較対象病院

F 大学回復期リハビリテーション病院

FITプログラムを実施 365日リハビリテーションを提供

T リハビリテーション病院 リハビリテーション専門病院

K県にて中心的なリハビリテーション病院

	当院	F大学	T病院
年齢（歳）	69.7	62.8	64
発症後日数	43.3	49.8	25
FIM－運動	59.1	60.6	56.3
FIM－認知	29.2	32.3	31.1
FIM－総得点	88.3	92.9	87.4

	当院	F大学	T病院
在院日数	74.5	69.8	76.8
FIM効果－運動	18.2	20.3	22.3
FIM効果	21.4	21.8	24.2
FIM効率－運動	0.29	0.3	0.35
FIM効率	0.36	0.32	0.37

当院の回復期リハビリテーション病棟は、先進的とされる大学病院やリハビリテーション病院と同等の成果をあげております。



入院のご相談：地域連携室

電話：0537-86-8852

FAX：0537-86-8853（担当：飯塚、寺田）

病院のアスリート

放射線技師の中山雅巳さんは病院N01アスリートです。

近隣のマラソン大会に参加していますが、平成22年4月掛川新茶マラソンでは2時間58分で又10月のしまだ大井川マラソンでも2時間57分で完走しました。御前崎駅伝大会でも病院チームで毎年1区を走っています。



『市立御前崎総合病院のあり方等検討会』開催

平成22年11月12日(金)市立御前崎総合病院にて、第4回『市立御前崎総合病院のあり方等検討会』が開催されました。

あり方等検討会では、本院の4つの目標とセンター化構想などの診療体制や、経営健全化目標・決算状況についての進捗状況や実績を報告しました。また、国保健康課からは市の夜間一次救急の利用状況・医療機関別受診状況報告等があり、委員やアドバイザーと今後の中長期に渡った視点での意見交換が行われました。

アドバイザーからは、県内の医療の現状をふまえ、7：1看護体制の維持、リハビリの充実、特色ある急性期医療から高齢者医療までの流れを更に充実させること。市全体として医療・介護・保健・福祉を考えるあり方等検討会の特徴を活かして、常に発展的に考えていくことが大切であるとの助言を受けました。

当院では、あり方等検討会で策定された病院改革プランに沿い、地域密着型の病院として医療の提供、地域の健康・福祉を守ることを役割とし、近隣の医療機関との連携をさらに深め、急性期・回復期・慢性期・介護等複合的に切れ目のない特色ある病院運営を展開していきます。

今後も、地域の病院として必要な医療機能体制を確保し、安定的かつ持続的に良質な医療等の提供を行えるよう取り組みます。

あり方等検討会の「病院改革プランの進捗・実績状況報告書」の詳細は、病院ホームページにて公表しています。是非ご覧ください。【<http://omaezaki-hospital.jp/>】

病院改革プラン担当：病院経営企画室
あり方等検討会事務局：国保健康課



●病院からお願い●

受診の時に薬手帳をお持ちください

病院受診をされる時、他院から処方されたお薬を飲んでいる場合は必ずお薬手帳をお持ちください。現在服用中のお薬がわからないと、同じようなお薬が二重になったり、お薬どうしが合わない場合などがあります。

薬局でお薬を受ける取る際、「お薬の説明用紙」や「お薬手帳」を渡してくれます。どこの病院を受診される場合でも、是非「説明用紙」か「お薬手帳」をお持ちになり処方をお受けになることをお勧めします。

■ 経営健全化目標の達成状況

達成状況は、評価A、Bの項目が大半を占めており、経営健全化の目標達成が着々と進んでいます。評価Cの項目のうち、急性期病床の利用率については、近隣医療機関の動向、また今後の地域の人口動態（疾病動向）等を鑑み、急性期病床の運用については再度検討を進めていく必要があります。

1) 病棟再編成 病床利用率の向上	単位	目標値	H20年度	H21年度実績	H21年度達成率	評価
①急性期病床の患者数	人/日	78人	93.7人	67.6人	86.6%	C
②回復期リハ病棟の新患者数	人/日	26人	－	29.0人	111.4%	A

2) 保健福祉センター病床利用率の向上	単位	目標値	H20年度	H21年度実績	H21年度達成率	評価
①－1療養型施設の患者数	人/日	51人	45.4人	49.6人	97.3%	A
①－2老健施設の入所者数	人/日	47人	42.4人	44.1人	93.8%	B

3) 稼働件数の向上	単位	目標値	H20年度	H21年度実績	H21年度達成率	評価
①透析センターの稼働件数 注1	件/月	860件	529件	496件	(57.7%)	C
②健診センターの利用者数	人/年	1,030人	951人	974人	94.6%	B
③リハビリの算定単位数	単位/日	20単位	16.8単位	18.8単位	93.8%	B
④－1通所リハビリの時間延長	実施	実施	－	実施済	100.0%	A
④－2通所リハビリの利用者数	人/日	38人	33.1人	35.3人	92.9%	B

4) 給与費の見直し	単位	目標値	H20年度	H21年度実績	H21年度達成率	評価
職員給与費（医業）	百万円/年	－	1,790	1,791	(+0.6)	C
職員給与費比率（医業）注1	%	66.8%	75.7%	74.4%	14.6%	
		△8.9%	(基準年度)	△1.3%		
①定年等退職による自然減	人	△6人	－	△3人	(50.0%)	
②時間外手当等の見直	%	△30%	－	△23.2%	77.3%	
③職員数の削減	人	△1人	－	△1人	100.0%	

5) 経費の削減	単位	目標値	H20年度	H21年度実績	H21年度達成率	評価
経費（医業）注1	百万円/年	560	623	601	(△22)	C
①経費の削減率	%	△10%	(基準年度)	△3.4%	34.4%	

注1 透析センターの稼働件数・職員給与費比率（医業）・経費（医業）の目標値は、21年～23年度の目標値です。
 評価区分 評価A＝達成率95%以上、評価B＝達成率90%以上、評価C＝達成率90%未満

第8回御前崎市民公開講座開催のお知らせ

御前崎市民公開講座 【肺のはなし】

日 時：平成23年2月5日 開場：14:00 開演：14:30 閉会16:45
 総合司会 市立御前崎総合病院 病院長 大橋 弘幸先生
 場 所：市立御前崎総合病院 2階 講堂
 演 題：「たばこと健康被害について」
 市立御前崎総合病院 内科部長 妹川 史朗先生
 特別講演：「肺の病気のはなし」
 浜松医科大学 内科学第二講座 准教授 千田 金吾先生
 総合討論：全演者

異動

12月1日付

内科部長

呼吸器内科 常勤

いもかわ しろう
 妹川 史郎 医師

外来診療担当表 平成23年2月

平成23年2月1日現在

			月	火	水	木	金	お知らせ
内 科	午前	初診・総合外来	木佐森優美	木佐森優美	澤田 仁	(下山久美子)	池谷秀樹	
		循環器外来	渡辺知幸	内山理恵		内山理恵	白木克典	
		呼吸器外来	妹川史朗				妹川史朗	
		腎臓内科外来		高橋 聡		高橋 聡		
		神 経 内 科			池谷秀樹			
		一 般 内 科			木佐森優美	木佐森優美		
リウマチ科	午後	消化器外来					二見 肇(予約制)	
リウマチ科	午前	リウマチ・内分泌	澤田 仁	大橋弘幸	大橋弘幸 下山久美子	下山久美子	大橋弘幸	★2/18(金)大橋医師休診
	午後	リウマチ・内分泌		大橋(予約制)	大橋(予約制)		大橋(予約制)	★2/2(水)PM休診
小 児 科	午前	外 来	佐野伸一郎	佐野伸一郎	坂上政則	松下理恵	三枝弘和(隔週) 坂倉雄二(隔週)	★毎週木曜日代診
	午後	特 殊 外 来 (予 約 制)	予防接種(予約制) 14:00～、16:00～ 内分泌外来(予約) 大関武彦(月1回) 佐野伸一郎 神経外来(予約) 平野浩一(月2回)		乳児健診4,7,10ヶ月 13:30～(予約制) 予防接種(予約制) 15:00～ 坂上政則		心臓外来 石川貴充(第2) (予約制)	★予防接種・特殊外来は 予約制 TEL 0537-86-8514
外 科	午前	外 来	齋藤孝晶	小泉貴弘	大石俊明 龍野玄樹	齋藤孝晶 龍野玄樹	小泉貴弘	★2/24(木)山本医師休診 ★血管外科外来は予約制 TEL 0537-86-8513
		血管外科外来				山本尚人 第2・4(予約制)		
		内視鏡検査	小泉貴弘 龍野玄樹 9:30～	澤柳智樹 10:00～	小泉貴弘	原田 岳 10:30～	齋藤孝晶	
整 形 外 科	午前	外 来	花田 充(予約制) 9:30～		花田 充(予約制) 9:00～		宮城道人(予約制) 9:00～	★完全予約制 TEL 0537-86-8513
	午後	スポーツ外来					鈴木義司(第1・3)	
脳神経外科	午前	外 来	横山徹夫	酒井直人		横山徹夫	(パーキンソン外来) 横山徹夫 杉山憲嗣(第1・3・5)	★脊椎脊椎外来は予約制 TEL 0537-86-8517
		脊髄脊椎外来					北浜義博(予約制) 月1回	
産 婦 人 科	午前	外 来		佐倉東武	佐倉東武	佐倉東武	佐倉東武	
眼 科	午前	外 来		彦谷明子			浅井竜彦(隔週) 東芝孝彰(隔週)	
耳鼻咽喉科	午前	外 来	大和谷崇	峯田周幸 (予約・紹介状)		橋本泰幸		★2/17(木)初診受付 10:30まで
泌 尿 器 科	午前	外 来	吉村 麦 (予約制)	吉村 麦	吉村 麦	吉村 麦	吉村 麦	
透 析			高橋 聡		高橋 聡		高橋 聡	
皮 膚 科	午前	外 来	飯田晴康	飯田晴康	飯田晴康	飯田晴康	飯田晴康	
	午後			予約外来		橋爪秀夫 第3(予約制) 14:00～16:00		
形 成 外 科	午前				深水秀一(第2・4)	鈴木綾乃(第1・3・5)		
麻 酔 科	午前	外 来	松井弦一郎 (予約制)					
	午後	外 来	松井弦一郎 (予約制)					
リハビリテーション科	午前	外 来	向井正明(予約制)	向井正明(予約制)	向井正明(予約制)	向井正明(予約制)	向井正明(予約制) 田中 博(第2・4・5)	
健 診 セ ン タ ー			大川 力	大川 力	大川 力	大川 力	大川 力	
外科系時間内救急当番			齋藤孝晶	龍野玄樹	小泉貴弘	吉村 麦	龍野玄樹	

- * 外来の受付時間は 8:15～11:00です。ただし、スポーツ外来受付時間は13:30～16:30となります。
- * 都合により、担当医師・診療時間等が変更される場合があります。詳しくは各科へご確認下さい。

編 集 後 記

毎年12月12日の「漢字の日」に財団法人日本漢字能力検定協会が、その年の日本や世界の世相を表した漢字一字を清水寺で発表することになっています。選ばれた漢字を「今年の漢字」と呼び2010年は「暑」でした。記録的な猛暑により熱中症にかかる人が続出、これに伴い野菜価格が高騰し、熊なども人里に出没。1万度の突入温度から帰還した「はやぶさ」などが反映しているそうです。今年は良い年を示す(喜・楽・幸など)漢字になることを願っています！